

むろらん



市政だより

昭和51年

1月

1日

No. 379



白鳥大橋架橋ルート(白線)と橋の形式

みんなの力で白鳥大橋の 早期実現をはかりましょう!

室蘭市民憲章

1、健康で働き、明るく楽しい家庭をつくりま
す。

1、老人をうやまい、子どもの夢をはぐくみ、
あたたかい心のかようまちをつくりま

1、自然を愛し、環境をととのえ、緑豊かなま

ちをつくりま

1、のびゆく港と、産業を育て、未来を開く希
望のまちをつくりま

1、きまりを守り、教養を深め、文化のかおり
あふれるまちをつくりま



市長 長谷川 正 治

市民のみなさん
あけましておめでとう
Happy New Year



市議会議長 渡 辺 定 六

希望

室蘭市立鶴ヶ崎中学校

三年 田代 のり子

たとえば海が
今よりもずっと小さかったら
人間の心は海にまけることは
なかっただろう

たとえば空が

あんなに青くなかったら
人間の心が灰色にそまることは
なかっただろう

たとえば星が

かがやきをもっていなかったら
人間の心がユウウツに沈むことは
なかっただろう

でも海が大きくて

空が青くって
星がかがやいているからこそ
人間は海をおがんで
空をおおいで
星をみつめながら
ひとときの安らぎにひたる

「花さき山」を読んで

室蘭市立大和小学校

三年 小林 智恵

「花さき山」は、わたしたちの
ことはとちがったおもしろいこと
ばで、書いてある、とても心のや
さしいお話でした。

妹の、そよが「赤いべを買って
くれ。」といったとき、あやは「

おらはいらねえからそよを買って
やれ。」と、いいました。

あやは家がびんぼうなことを知
っていました。ふたりの着ものを
買うことは、できないお母さんの
ことを考えて、ほしい気持ちを、
じつとがまんしました。

あやだつて女の子です。おまつ
りくらいは、きれいな着物を着て
みたかったでしょう。新しい服
や、着物を買ってもらった時の、
とくいでうれいし気持ちは、ほん
とうにいいものです。わたしのお
兄ちゃんだつて「女の子は、きれ
いな着物が着れていいな。」とい
います。そよが買ってもらった着
物は、あやのがまんと、妹を思う
やさしい心がいって、村の
子どもたちのどの着物よりもきつ
ときれいで、美しく光っていただ
ろうと思います。そして、それを
着たそよのすがたも光りかがやい
ていただろうと思います。

それにくらべて、わたしはお母
さんに「おさがりのスカートで、
がまんしなさい。」といわれたと
き「友だちが、みんな持っている
から。」とおねだりをして、フィ
ギャを、とうとう買ってもらいま
した。

そのことを思ひ出すと今は、と
つてもはずかしい気持ちです。
こんな時の花は、きつと、小さな
つばみか、それとも、かれてしま
うかきえてなくなるような、花な
のでしょね。ふたごの赤ちゃん
のお兄ちゃんは、目にいっぱいな
みだをためて、自分のみだの

をがまんして弟に、おちちをのま
せてあげたことは、えらいと思ひ
ます。小さい赤ちゃんでも弟のた
めに、おなかのすけたのをがまん
して、花を一つさかせることがで
きたのです。わたしにだつて、か
わいそうな赤ちゃんに、ミルクを
のませてあげたら、わたしの花が
さくかもしれないと思ひます。

うちのお兄ちゃんが入院したと
き、わたしは、さびしいのをじつ
とがまんして、三十日も病院へお
母さんをかしてあげました。あの
時のことを考えたら、わたしの小
さな花が一つさいたかもしれないま
せ

この山はふしぎな山だ。自分が
やさしい心で人のためによいこと
をししたら花がさくと言うけれど、
どんな花なのだろう。

赤、黄、青、緑色かな、それと
もお星さまのようにキラ、キラ光
つて見える花かな。また、わたし
の頭をナゼ、ナゼしてくれる花か
のきれいな人だけに見える花な
のかな、ケーキのようにあまくて
おいしいあじの花かな、わたしの
頭の中は、いろいろな花であふれ
そうです。命をかけてよいことを
すると山ができるか書いてあるけ
れど、わたしは、とつても山を作
るゆうきはありません。だから、
口をとがらせてふくれること、な
んべんもなんべんもおんなじこと
で注意されることをやめ、友だち
には、やさしくしてあげるとか、
わたしのすぐそばにある、小さな
よいことをたくさんして、花さき

あらし

室蘭市立朝陽小学校

二年 めとき ゆか

グラウンドの水たまりが
海のようになっている。
風が

「ヒューヒュー」

うなっている

さがが風におされて

うごいている

雨は雲のようになつて

風といっしょになつて

うごいている

マナー

室蘭市立鶴ヶ崎中学校

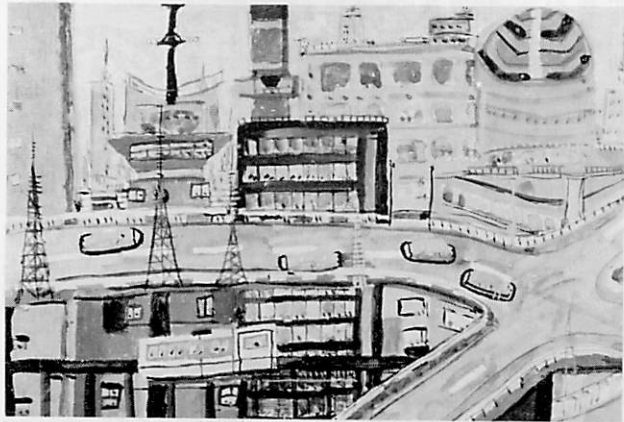
三年 近江 久江

マナー、この言葉を辞典で調べ
てみると、態度、様子、行儀、作
法と書いてあります。

私は、このマナーについて日頃
思っていることを書きたいと思ひ
ます。まずマナーというといろい
ろなことがあげられますが、私は
日常利用しているバスの中のマ
ナーについて書きます。私は時々
バスを利用しますが、その時に一

未来の室蘭

室蘭市立東園小学校 6年 石井 寿明



若いお母さんと三歳位の女の子が乗ったのです。私はその時に女の子に席を譲ろうと思ひ、タイミング良く「どうぞ」といえたのです。そして席を譲るとそのお母さんは「はいどうもすみません」といって持っていた手荷物二つをどんとそこへすえたのです。私はその時いいようもないはらだたしさと同時に恥かしさも生まれました。というのも回りの人たちがじろじろと見ているのです。悪いことをしているわけでもないのにバスで降りるまでずっといやな気持ちでした。そのお母さんは、悪気でもったとは思いませんがやはり譲った方にしてはいやな気持ちになりました。こういうことがあるから少し勇気が必要とするのだと思ひます。でも譲られた方も素直な気持ちでいればそういうことが少しも苦痛でなくなるでしょう。それからもう一つ思っていることがあるんです。というのは近ごろバスに二つくらい白いシートが着いている老人優待席というのが出来ました。私はその席を初めて見た時「ああいいことだな」と心の中でつぶやきました。しかしそう思っている

番身苦しいと思うのは、高校生や若い人がゆうゆうと席を占領しているということす。その時老人やまだ小さな子供は立っているという現状です。この場合、常識からいけば若い人がお年寄りや小さな子供をいたわって席を譲る心構えが必要だと思います。やはりおとなの人たちが「今の若い者は常識だ」というのも一理あるでしょう。でも席を譲るといってもちよつとしたタイミングと勇気が必要でしょう。ひとこと「どうぞ」というだけなのにいいそびれたりする場合もあります。

子に席を譲ろうと思ひ、タイミング良く「どうぞ」といえたのです。そして席を譲るとそのお母さんは「はいどうもすみません」といって持っていた手荷物二つをどんとそこへすえたのです。私はその時いいようもないはらだたしさと同時に恥かしさも生まれました。というのも回りの人たちがじろじろと見ているのです。悪いことをしているわけでもないのにバスで降りるまでずっといやな気持ちでした。そのお母さんは、悪気でもったとは思いませんがやはり譲った方にしてはいやな気持ちになりました。こういうことがあるから少し勇気が必要とするのだと思ひます。でも譲られた方も素直な気持ちでいればそういうことが少しも苦痛でなくなるでしょう。それからもう一つ思っていることがあるんです。というのは近ごろバスに二つくらい白いシートが着いている老人優待席というのが出来ました。私はその席を初めて見た時「ああいいことだな」と心の中でつぶやきました。しかしそう思っている

のは、つかの間のことです。次に乗ってきた老人にはとてもほどとおいような若い男の人が座ったのです。私はその時「あいていたら座ってもいいのかな」と疑問に思いました。でもそれとは反対にこゝも思いました。やはりお年寄りが乗ってきた時、その席があいていて、気持ちよくすつと座れるようにしなければならぬんじゃないかと思ひました。もしその席に座っていたお年寄りの人だつてちよつとえんりよするのじゃないかと思ひます。そんな小さなことでもみんなが気をつければとても良いことだと思ひます。

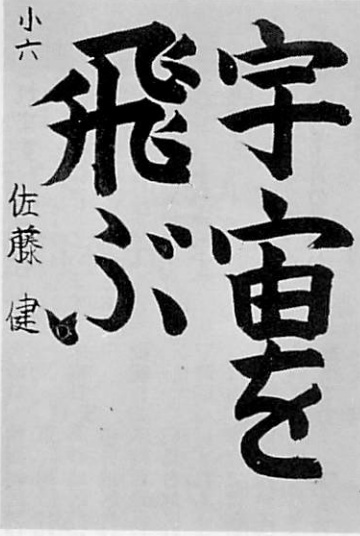
かぜ

室蘭市立朝陽小学校
二年 井上 ひでとし

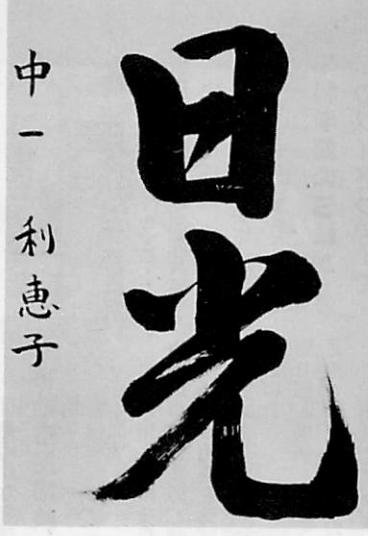
外に出ると
口ぶえの音のような
風がおこっているように
ふいていた
ぼくの顔に
小さいところがぶつかった
白いものが
水たまりの上を
風にふかれてうごいていった
先生が
「北川くんの頭
うにみただ。」
といった。



室蘭市立武揚小学校 三年 まこと



小六 佐藤 健



中一 利恵子

室蘭市立東明中学校
1年 馬場 利恵子

室蘭市立天沢小学校
6年 佐藤 健

室蘭市立武揚小学校
3年 上野 真

小・中学生の作品を紹介しました。(作品は原文のままです)

